

## 特別会計

特別会計の決算は、歳入総額27億3054万円、歳出総額26億8525万円になりました。  
歳入歳出の差引額は4529万円で黒字となりました。

特別会計区分	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	10億2,571万円	10億1,354万円	1,217万円
簡易水道及び飲用水道供給事業	6,144万円	5,883万円	261万円
公共下水道事業	5億4,112万円	5億3,408万円	704万円
介護保険	9億7,313万円	9億4,975万円	2,338万円
後期高齢者医療	1億2,914万円	1億2,906万円	8万円
合計	27億3,054万円	26億8,525万円	4,529万円

## 水道事業会計

「収益的収入および支出」では、1966万円の利益を計上し、その全額を減債積立金へ積み立てました。

「資本的収入および支出」の不足額1億13万円は、消費税資本的収支調整額、減債積立金、過年度分損益勘定留保資金ならびに当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

水道事業会計区分	歳入	歳出	差引額
収益的収入および支出(税抜)	2億1,254万円	1億9,288万円	1,966万円
資本的収入および支出(税込)	4,989万円	1億5,002万円	△1億13万円

## 基金(貯金)と町債(借金)

令和元年度末の基金は、69億7374万円です。平成30年度から24億8206万円の増額となりました。町民一人当たりでは92万円になります。

町債は124億6934万円で、平成30年度から14億6255万円の増額となりました。町民一人当たりでは164万円になります。

※基金と町債には特別会計、水道事業会計は含んでいません。

※町民一人当たりの金額は、令和2年3月31日現在の人口7616人から算出しています。

## 決算のまとめ

町の財政状況は現在のところ健全といえます。しかし、先の見えない景気の動向や人口の減少による収収の減など、今後の財政運営は楽観できません。

限られた財源で最大の行政効果が得られるよう、効率的な財政運営に努めていきますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。決算など財政に関する問い合わせは、企画財政課財政係 ☎212171(内線320)まで。

## 令和元年度の主な事業



ふるさと納税で、まちの食材や体験等のお礼の品を贈呈し、白糠町のPRや交流人口の増加を図りました。



アイヌの歴史や文化などの情報を発信し、アイヌ文化の振興とともに地域の活性化を図りました。



太陽の手子育て支援事業として、18歳までの医療費無料化や保育料・学校給食費の無料化などを行いました。